

「わらしへ長者」の経済学

名前

年

組

番

(1) 観音さまに富を授かるようキガ^ンした。(一三六・2)

祈願

(2) のどがカワ^イいて水気のあるものを探していた(一三六・7)

渴

(3) 馬をカイホウ^ウしたら元気になった。(一三七・1)

介抱

(4) 取引をフリ返ると、断ろうと思えば断れるものばかりだったから、(一三八・14)

振

(5) 取引を媒介できる人物がカレ^レしかなかったからである。(一四〇・8)

彼

(6) これらの人たちの間にネム^ルる経済学的価値を引き出す(一四〇・9)

眠

(7)馬が息を吹き返したのは確かに幸運であったが、(一四一・4)

吹				
---	--	--	--	--

(8)死にそうであったということがミノガせない要点である。(一四一・5)

見逃				
----	--	--	--	--

(9)何かトクシユな出来事が起こったというわけではない。(一四一・13)

特殊				
----	--	--	--	--

(10)運送業や小売業がなぜ我々の経済の中で大切な役割をシめているのか(一四一・2)

占				
---	--	--	--	--

(11)「わらしべ長者」にある種のケンオカンがともなう原因は、(一四一・8)

嫌悪感				
-----	--	--	--	--

(12)特定の個人に話のショウテンが当たっているためではないか。(一四一・8)

焦点				
----	--	--	--	--

(13)末は東証一部上場のダイキギョウにまで成長する(一四一・13)

大企業				
-----	--	--	--	--